夕刊
七月十四日發行
定價一ヶ月金五拾錢（郵稅拾五錢）
社會（電話五拾錢）
編輯（電話五拾錢）
磐城新聞會社
福島縣平町字田町（ライラック通）
電話五六四番
（日曜祭日翌日休刊）

兵營日誌

平町　秋月俊一郎

三月一日　午前五時半起床。薄暗い營庭に飛び出ると、樟木は初春の香を送ると、氣爽快にして入隊當初のことを思ひ出す。八時半より酒保にて測圖學教程、陣中要務令の學科。午後舍内に自習、曲斷面圖を作成して自習、曲斷面圖を作成して教官殿に提出。夜衛題。分隊長の職務の抜萃を書く。時は巡りて春三月乾坤は將に蠢動せんとしてゐる。失はれた洛陽の春よ！

三月二日　午前講武所にて馬術。余忠水號に乘る。午後第四中隊厩内にて馬事提要、三時解散、舍内に飯りて清潔法を行ふ。余は本日某と口論をなし某熱して暴言を吐く。余戰雲急なるを思ひ口を噤して武裝せる平和を守る。他人と冷靜に議論し得ざる我儘者程哀かな者はない。聰明なる者は唯微笑みを以て聞くだけだキリストは反逆者ユダの足を洗つたではないか。裁斷は天の爲す所天は高きにあらず、醜愚は終に自ら亡ぶ

三月三日　日曜日なるも連續劇觀劇のため月曜日と交替す。午前舍内にて自習平間候補生の處に從弟が面會に來る。軍醫殿の都合により午後の衛生學を繰りあげて十一時より下士集會所にて實施。午後自習、與村先輩の許に手紙を書く。何となく將來のことが氣懸りになつて來た。一ッとして不注意から自分の一生を駄目にすることはつまらぬ無しにすることはつまらぬ

上京吟

市川健次

○樽内はがらんとして人の影もなし夜の明けかかる秋薬原驛（秋薬原驛四首）

○朝おそきうす陽を射せり樽内の倉庫の屋根に霜しろく見ゆ

○霜白き樽内はるかに入り來る貨物車の汽笛ぞ響きわたれり

○目もはろにつづくいらかや雪ぐもる空の下びにただにさむけき

○田舍ものの弱み見せじとこころはり應接室の扉をあけにけり（聯盟ボンブ會社）

六月句會

課外吟運座一題　一吟五撰

果樹園の毛虫集めて焼きにけり　松堂
焼き殘す松の毛虫や雨催ふ　石城
憩ひ居るベンチに落し毛虫かな　北窓
風の葉に技蚰鳴く眞晝かな　石城
技蚰若萩に深く鳴きわたり　眞砂常
技蚰雨宇下り鳴くしきり　武門
技蚰桐の葉高く雨を呼ぶ　晩霞
耕しに遊く桑の實行く子かな　眞砂常
葉の實やつみつくす枝に殘りけり　石城
水打や庭の芝生よみがへる　欽一

時計讀

ささきあきら

（20）

冠里公と十雨

文政九年磐城に於ける春十雨と俳名を更へた。その作は冠里公の程上手には見えぬが

てはさせ

の句に先代に因んで含秀亭

太陽劇團とか云ふ一座來演團なり、その興業の目的とするところは、戰ひは避く

拈華微笑

◇ロサンゼルスの雄早大高橋選手文字通り水際立つた泳ぎ振り

◇明七曜から日曜導く

◇驛に精巧な檢炭機。渥塲の時なんか檢人機なども欲しい

◇あす三りんぼ。夏本格

◇ほかけて磐炭ブールの壯觀。正に涼味一掬だ

◇蓄膿而して蓄惱だつた。病氣可惜一女姓を死に

友よ
都なる友よ
心放てよ
吾が故郷の
この樣子

日一15　△關白秀次自殺す（文祿四）△祐天上人寂す、年八十二（享保三）△民國古書の輸出を禁ず（昭和五）

7月　△皇后陛下東京、神奈川人に依つて極めて敏捷に行の細民へ六千圓下賜（昭和六）△八年度豫算編成方針閣議で決定△東支鐵量に他濟士の勢力を猜んだ西部線で匪賊國際列車を襲撃し、乘客掠奪され死つた傷多數（同七）

社會の今日

○シャンパンを抜く音冴えて花氷

陸夫子

いたづらに我は死なじと誰もいへど、名もなき墓の多くこそあれ

與謝野寛

講談

劍火無情

津屋義人作

（66）

菅野祐作畫

和尚の辻說法（一）

實際筑波山は、田丸稻之右工門が采配揮ひ、藤田小四郎が副將として、水戸の結城黨其他を苦しめ、屢々勝を占めてゐたのだが其策戰計畫や、數倍の敵に對して奇拙を博し得る拙引は秋岡丹三郎が江戸を探り、田率ひて、由麓の偵察をなし岡大助が指揮の宜しきを得た爲であつたのだ

秋岡が江戸の形勢、江戸の

田丸は夫等を排斥し度かつたのだが唯さへ衆寡敵し難き際、味方の軍の減るを恐れたので涙を振つて丹三郎を去らしめたのであつた

當日田岡大角和尚は結城の玉五郎、龍ケ崎岩太郎を家に招じ、水戸樣御分上の杉の森に、水戸樣御分の松平大炊頭樣が筑波山の田丸樣を攻めに來てござります。それで私共は幾らか安心が出來ます。宍戸の勢、馬の背に買集めたまぐ殿樣の御威勢で此邊にはまさを積んで立つてゐる烈しい軍はござりませぬ

主人は恐る〳〵雨戸を開けた。大角和尚それを見ると物好きにもそれへ挨拶に

例の口上手に出任かせな事を言ふので玉五郎も岩太郎もあきれてゐる

『御主人や、此邊にも陣屋はあるかな』

『へイござります、ハイ此

『ハヽアそれは結構ぢやが其宍戸樣の軍勢は此家へは見へんかの』

『へイ、毎晩お越しになります、兵糧は何でも整つてあるさうですが、馬ぐさが不足なので夜になるとお厩方の大將分が馬ぐさを買ひ集めに見へまする』

『さうかな、今夜も來やうかな』

『へイ、もう見える時分です。だが戰さで人の氣が荒うござりますから、何うぞお武家が勝手にやるものだ失禮のない樣にしてくださいが、其爲に百姓に塗炭の苦しみをさすとは何たる事だらう。自分達は領地を廣くして年貢がタント取れたら可いのだらうが、其年貢米を殖やす爲に稼業を休ませられては百姓衆が堪つたもしたものでない。ソコで俺等は說敎して戰爭を廢めさせやうと思つてゐるのぢや』

『へイそれは有難い事でござります、貴君方は何處からお越しでした』

『俺は佐賀の遠い遠い所から來たんだが、此二人はな結城にゐる顏役、一人は又元江戸力士ぢや、斯ういふ強い人を後見にしてお武家方へ說敎して歩きます』

ん。何うか早く鎭まつて呉れゝば可うござります』

主人の言ふに大角和尚も同情して

『イヤ戰爭なんてものは、お武家が勝手にやるものだが、其爲に百姓に塗炭の苦しみをさすとは何たる事だらう。自分達は領地を廣くして年貢がタント取れたら可いのだらうが、其年貢米を殖やす爲に稼業を休ませられては百姓衆が堪つたもしたものでない。ソコで俺等は說敎して戰爭を廢めさせやうと思つてゐるのぢや』

『へイそれは有難い事でござります、貴君方は何處からお越しでした』

『俺は佐賀の遠い遠い所から來たんだが、此二人はな結城にゐる顏役、一人は又元江戸力士ぢや、斯ういふ強い人を後見にしてお武家方へ說敎して歩きます』

金融恩給年金

低利立替

軍人官吏其ノ他一般（敎員）（巡査）モ速カニ御用立致シマス。御希望の方は表記へ御來談を乞ふ。

平町六丁目百〇壹番

鈴木

露峰羊羹

磐城名物

小川鄉驛前

平屋賣店

吉田眼科病院

平町紺屋町

大塚の夏期……特賣

謝恩の爲七月十五日迄

全商品一圓以上一割引

◎自製靴　船來防水白靴　五、〇〇〇

◎運動具　各種全般

○運動服裝類……

絶好の御買ひ時……！

平町田町

大塚製靴運動具部

電話七七番

月掛提供

大島おけさ　勝太郎
天龍下れば　市丸
唄の旅び　勝太郎
思ひ餘れば　二三吉

金光堂時計店

平町　電一九五

店員募集（十五才ヨリ十七才マデ）

將來兵役の義務を果し得る見込の健康体と思想穩健にして思考力に富み勞務に趣味を有する者を採用す！。

産婦人科花柳病科

井阪醫院

平町田町（元合津醫院跡）

電話五五九番

午前宅診
午後往診
入院應需

貸切ノ御用命ハ

ゼヒ三井自動車部へ

電話六八五番

乘合は好間…合戸…澤渡方面行

木村外科醫院

平町六丁目（橋際）

電話三〇九

內臟外科一般（入院隨意）
外科花柳病科

生徒募集

奥樣方の爲め持に隨意科が設られてあります。

毎日定期に通學の出來ない方々の爲の回數券制度……

磐城女子洋裁專門學院

入學毎月初日

（此の際入學者は隨時入學を許可す）

ミシン無料貸與（材料に與の方法あり）

平町白銀町十五番地

（詳細…學則郵券二錢）

耳鼻咽喉科專門

平町田町七〇番地

山內醫院

醫學士山內亨吉

入院隨意

病室完備

電話六九一番

診療時間

夜

胃腸專門

內科
十二指腸虫病

梅毒專門

淋病
皮膚病
婦人病

松村性病胃腸科醫院

（平町南町電一〇七番）

パラソルは中野洋品店

◎あらゆるお好みの……柄合とお値頃……豊富に取揃へました◎

◎おつとめ品……パナマ朝子九十八錢◎

●平二ノ五三番●

生花教授

池ノ坊流

生花を懇切丁寧に御教授いたします、お遊びがてら御出で下さい。

平町四丁目和泉屋旅館

須藤なつの

雨の大川端

池上利夫

若き日の夢

（一四二四番）

ポリドール會社が忘られぬ花發賣以來の傑作と自信を以てお勸めする流行歌です。

皆々樣の御試聽を御待ち申し居ります。

會田時計店

平四電話三六四

お聞きになりましたか

オリンピックの勇者
早大の高橋水泳選手
三大炭鑛及磐中の爲指導

近來地方各炭鑛に於ける水泳熱は各種スポーツの發達普及と共に完全なるプールの施設其他漸く本格的となり其の間著しき進境を見せつつあるが小島勞務課長を先驅とする磐炭水泳部では今回昨年のオリンピック競技に於て强豪宮崎に次ぎ一秒の差を以て五着となつたクロールの第一人者で日本記錄の保持者たる早大生高橋成夫君を招聘し明十五日午後五時からと十六日午前九時からの二回に亘り其の水際立つた指導を受くる事となつたが之には磐炭ばかりで無く入山、古河、磐中も參加の筈であると

猛練習の磐中が
更に日大(安部)投手招聘
大會の切迫に一段の緊張

愈々大會の切迫に磐中野球部では去る十二日から通學が更に來る十六日からは日大安部投手を招聘、最後の選手杉浦捕手、金成(忠)の五分間を猛練習する事になつた、尚同チームは來る十六日入山、十七日は水巖と同校グラウンドに於て一戰する事になつた

聯合青年團野外講習
豊間、新舞子、四倉で開催

石城聯合青年團では來月三日より三泊四日の豫定で豊間、新舞子、四倉の各海岸に於て講習會を開き飯盒炊爨其他を体驗せしめ尚鄉土史に就いての講演會を催すが講師及指導員は左の如くである
(講師)團長小檜山久作、縣實業補習教育主事景山鹿造、神谷農試分場長竹藤泰治(指導員)副團長西山直三郎、同大河原濱平幹事松本忠人、紺野、上遠野島木、玉川、大塚、大野各小學校長、近藤景助

郡下青訓視察研究會
宮尾中佐照沼主事來郡
二十日飯野に會合

郡下青訓視察研究會は二十日午前十時から飯野青訓所で開催、縣から照沼社會事業主事、宮尾中佐出席、青訓主事、指導員二百名出席とは正に致命傷で非常に向後して知られる飯野青訓生五を愛慮され被害地には地租十除名の訓練狀態及實地視の減免が寄々協議さるゝに察をなし午後は小學校で視察研究會を開く、尚同村青訓生は十五日午後二時から同村中出で之が豫行演習を行ふと

早魃被害地
減免稅研究
小名濱方部で論議

郡下の早魃被害九十町歩中二本松團体五十名を初め郡下各濱海岸に無料休憩所及宿舍を開設し且つ自動車賃の大割引を以て從業員の清遊に便宜を供與する事となつた

鰹漁況沈靜
品薄の爲數割高値

郡下各濱は目下金華山沖に北進した鰹群を逐つて漁獲中であるが今年は例年に比し非常な不漁で六、七割の高値を呼んで居る、尚江名その戰績は勿論未知數であるが町中之作稻荷丸は昨十三日夕刻七千尾を漁獲して入港出す丈け元氣はいとも旺盛

榮冠目指して
初陣の競技部
期待劍道の雄
(平商の巻)

×
雪辱の意氣に燃えて居る高月
×
期待選手の一人が五年齊藤三男君、過般の磐中との一チームに對して吉孝氏(磐中出身)をコーチとして水泳講習會を催す事に決定したが希望者は六八人餘名に上るであらうから換刑處分に附されたが

磐女水泳講習
滯納四千五百圓
平檢事局罰金整理

内郷村高坂太田留吉は昨十三日賭博罰金二十五圓未納

補正させるに止め
更めて處罰せぬ
近く開始の印紙稅檢査
當局方針を語る

平稅務署では十八日から二檢査人員六百六十人、二萬六千三百八十一件中補正二百三十一人、四百四件であつたと

潮狂ふ波立藥師海岸で
磯釣りの針に娘の死体
蓄膿症=神經衰弱=厭世=
親友に妹を托す綿々の遺書

昨十三日午前十一時頃久之濱町波立藥師海岸鰐ヶ淵附近に於て同町鈴木七郎が磯釣り中赤い蹴出しが引つ掛つたのに仰天し宙を飛んで居る、因に昨年の成績は生れながら尚ほ原氏を冒し天才ふりを發揮して同業畏敬の的であつたが直に橋場に就ては文獻は單に故人敬の中心となつた、和漢古今泉寺榮禪の弟子となつてとだけ記して詳細はわかつて居ない。幼時漸儒神林復所に就て學んだが當時八百八町の隅にまで名聲籍道先覺者の懇請を容れ東京すでに出藍のほまれ高くその博識而して强記なる點に甚だしき先生の門人となつて醫をの講師となつたが師が壞上於て遂にかの儕輩を凌ぐもの學んだ、それと前後して二瞑目一番してから徐に慈眼があつた、復所先生またその頭腦明晰なるをめで所謂寮に聘せられて經書を講じの辯をふるつて阿頼耶識の大浦及平潟沖合に於て大曳にし度いと唯野署長は語つ釣り中赤い蹴出しが引つ掛次さんの妹で湯本町大字湯つたのに仰天し宙を飛んで本字三國五五生れの星野タ

哀れ小作人の死
虎の子を貸し失ひ
世を儚んで首を縊る

昔のことのようであるが文政は天保のすぐ前の年號でその二年に生れたとあるから和尚が假りに今尚ほ存命であるとすれで百の上を十から幾つ越したに過ぎぬ勘藏藏弟子として之が薫陶にしてその當時に於ける龍を究め所謂世紀末の霧團氣に醉はされるのであつた。
平藩士新井勇輔の長子として生れ名は覺山幼名良作あつた昌平校に入り勉學前濟度すべく大精進の決意を五年七月廿七日病なくして後八年こゝでも隨時異常のなくてそのみちに就て甚だ漠然遷化した

榜上史を閑談飾る
鄉土
歸幽直前の坦山和尚

○△生

(4)

『拙僧儀卽刻臨終仕り候、此段御通知に及び候也』
その瞑目に先だつこと廿分知友某々へ自筆の死亡通知を郵送して文字通り大往生を遂げた一代の名僧原坦山和尚こそ實にわが石城郡のりの約三百人が昨十三日もり回收つかぬのを悲觀した
而も平町が生んだ偉人であ
定で和尚の生涯は極めて近
平藩士新井勇輔の長子と
の門で殆ど最高學府の格で中に苦悶しつゝある衆生を尋で學士會員に選任され廿
し生れ名は覺山幼名良作あつた昌平校に入り勉學前濟度すべく大精進の決意を五年七月廿七日病なくして
後八年こゝでも隨時異常のなくてそのみちに就て甚だ漠然遷化した

四倉濱賑ふ
野馬追ひ歸りの
多數が立寄る

一兩日來暑熱に惠まれつつある四倉町には一昨十二日中通り方面より野馬追祭歸りの約三百人が昨十三日も

成績顯著な
飯野青年團
實際的活動の數々

飯野村北白土青年團約五十綱の實況を見學すると

法曹團
曳網見學

中島裁判長以下判檢事辯護士十餘名の一行は來る二十三日の日曜に大浦及平潟沖合に於て大曳

四倉出張大賣出し

七月十三日、十四日、十五日＝三日間

夏衣、新柄、特價品取揃へて參りました、何卒御引立願上ます。

四倉仲町役場角

吉田屋呉服店

電話開通
三四二番
五丁目
開花亭パン店

第貳拾四期決算報告
昭和八年六月三十日

資産(借方)

現金並ニ貯金勘定　三、八一、〇二四、四四
有價證券　三、八一、〇二四、四四
貸付金勘定　六、三二七、五六四、四四
未收無盡掛金　五七、五一〇、三四〇
補欠未收掛金　四、〇八九、三四〇
假拂金　八、五四〇、四四〇
營業用土地建物什器　四、八四八、一四〇
不動産建築假拂金　九二〇、〇〇〇
合計　二三五、五二一、五四四

負債(貸方)

未拂無盡給付金　三、一〇〇、〇〇〇
未拂入利差金　七、九二一、〇〇〇
未拂解約返戻金　二一〇、五〇五、三四〇
無盡給付資金　二一、一五九、五二四
期末經過掛金　九四七、二五四
假受金　二三三、八四〇
日掛假受金　四四〇、〇〇〇
加入申込證據金　一〇、〇〇〇、〇〇〇
資本金　八、四〇〇、〇〇〇
法定準備金　二、一〇〇、〇〇〇
特別準備積立金　八、四〇〇、〇〇〇
社員退職給與積立金　二、三七六、一四四
營業用土地建物什器積立金　二、一四四、六四〇
社員保養積立金　二、〇四一、三九四
無盡利益金　四六、八九八、五四〇
諸利益金　三一、一七九、七六四
前期繰越金　三一、四九五、八四〇
合計　二三五、五二一、五四四

損失

未收無盡掛金銷却　五、一〇六、三四〇
營業用建物什器銷却　一、〇〇〇、〇〇〇
假拂金銷却　一三五、〇〇〇
見替利息　三四、九七一、一五〇
營業費　二、〇四一、三九四
當期利益金　一、一〇〇、〇〇〇
合計　二三五、五二一、五四四

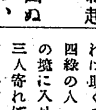
利益金處分

法定準備金　二〇〇、〇〇〇
特別準備金　六〇〇、〇〇〇
社員退職給與基金　二五〇、〇〇〇
賞與金　二五〇、〇〇〇
後期繰越金　二六一、二四〇
昭和八年七月十三日
福島縣平町大町十一番地
磐城無盡株會長
小笹嘉久治

當期末現在無盡給付金契約高　三、三二二、二〇〇、〇〇〇
當期末滿會無盡完了高　三、九二一、九九〇、〇〇〇
合計　七、二三三、九九九、〇〇〇

四倉仲町役場角
吉田屋呉服店

諸判定應需
東京市本郷區湯島四丁目五番地
高島易斷總本部　神鑑館

▲一白の人　峠は目先にあり猶一と苦勞を忍べば跡は樂▲二黑の人盛大なる氣運にて遂げざる事なし努力せよ▲三碧の人　捨つる神あれば助くる神あり落膽せず進め▲四綠の人　闇暗の域を出でて明朗の域に入りたる如し▲五黃の人　三人寄れば文殊の智惠協議の上にて進み吉▲六白の人　處するに進なく思案に餘る日怪我病難注意▲七赤の人　ここうと頼む人を失ふことあり輕動は愼しめ▲八白の人策は策に倒る、事あり小刀細工は控ゆべし▲九紫の人　油斷は禁物たゆまず本業に出精するが絶安全

奮土曜　新七月
五午
十二月
先負
閉
日胃宿